

「天神ビッグバン」経済波及効果の推計

(公財)福岡アジア都市研究所

「天神ビッグバン」によって、既に完成・稼働しているビルに加え、建設中や計画中のビルも今後本格的な建替え工事へと移行するなど、当初の想定を上回る見込みで、圏内におけるビルの建替等が進行している。

こうした中、2026年末に「天神ビッグバン」が一つの区切りを迎えるにあたり、プロジェクト開始時からの大きな社会経済情勢の変化なども踏まえ、今回、最新のデータなどを用いて経済波及効果(建設および経済活動)の推計を実施し、都市政策によってもたらされる経済的効果を定量的に示すこととした。

1. 推計の対象

- ・天神ビッグバン 11 プロジェクトの経済波及効果
- ・11 プロジェクト全面開業時の新たに発生する需要額を算出し、建設事業費、経済活動売上高(純増分)に分けて推計した。
 - *建設投資効果は建設時の1回限りで発生する効果であり、経済活動による波及効果は、企業等の事業活動によりその後も効果を生み続ける。

①天神ビジネスセンター	⑦(仮称)天神 1-7 計画
②福岡大名ガーデンシティ	⑧天神ビジネスセンターII
③ヒューリックスクエア福岡天神	⑨天神二丁目南ブロック・駅前東西街区(新天町・パルコ街区)
④ONE FUKUOKA BLDG.	⑩天神一丁目 15・16 番街区
⑤天神ブリッククロス	⑪福岡中央郵便局・イオンショッパーズ福岡地区
⑥天神住友生命 FJ ビジネスセンター	

2. 推計の流れ

(1)新たに生まれる需要額の算出

- ①建設事業費:建築単価(統計値)と建築規模から算出
- ②経済活動売上高:産業別の売上高を推計から算出(建替えによる純増分)
 - *経済波及効果推計用に産業別に算出

(2)経済波及効果の推計

- ・建設投資、経済活動の直接効果(需要額)をもとに、直接効果、1次効果、2次効果を算出して、これらを合計した全体の経済波及効果を推計

3. 推計結果

推計結果は、下記の通り

- ①建設投資効果 **約 6,300 億円**
- ②経済活動波及効果 **約 1兆 8,900 億円** (雇用効果:約 59,000 人)